

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 NPO 法人 ABC ジャパン

1 事業の趣旨・目的

2010年12月に開設された「鶴見国際交流ラウンジ」における日本語および外国籍住民支援の諸活動を担うスタッフおよびボランティアが、コーディネーターとして必要な基本的な知識を得るための研修を企画・実施する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
4月15日	(有)インフォ ジャパン	塩原、佐藤、長谷部、富本、安富祖	聞き取り協力者の検討	キーパーソンのリストアップ、ラウンジの概要や機能について
7月3日	(有)インフォ ジャパン	塩原、佐藤、長谷部、富本、安富祖	聞き取り進捗状況の確認、	・聞き取りの進捗についての確認 ・実践的な研修内容と配布資料の内容検討
7月24日	(有)インフォ ジャパン	塩原、佐藤、長谷部、富本、安富祖	・配布教材について ・講座の企画について	・教材の選定 ・配布資料の内容確認 ・講座の講師選定
9月27日	(有)インフォ ジャパン	塩原、佐藤、長谷部、富本、安富祖	講座の企画について	・ラウンジの運営団体やスタッフの応募状況 ・講座の広報について
12月26日	(有)インフォ ジャパン	塩原、佐藤、長谷部、富本、安富祖	講座の実施状況について	・ラウンジの開設について ・講座の受講者 ・今後の講座の内容確認

【写真】



3 研修講座の内容について

- (1) 研修講座名 鶴見国際交流ラウンジスタッフおよびボランティアを対象とした実践的研修
- (2) 研修の目標 鶴見国際交流ラウンジにおける日本語学習および多文化共生の活動に関わるスタッフおよびボランティアが、鶴見区在住の外国人住民の生活について知る機会を創出する。また、国内外の先進的な事例や理論的枠組みを知ることで、ラウンジでの活動の参考とする。
- (3) 受講者の総数 33人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本15人、ブラジル5人、中国4人、ボリビア2人、フィリピン2人、韓国2人、タイ1人、アルゼンチン1人)
- (4) 開催時間数(回数) 157時間 (30回)
- (5) 参加対象者の要件 鶴見国際交流ラウンジおよび鶴見区内で日本語学習や多文化共生の活動に関わっている、または参加予定であること
- (6) 受講者の募集方法 鶴見国際交流ラウンジの活動に関わる窓口スタッフおよびボランティアに対する広報。鶴見区役所地域振興課が把握する区内の日本語教室や学習支援教室、母語教室および鶴見区国際交流事業推進委員会のメンバーに対してメール等で広報。さらに、鶴見区役所内で多文化共生施策に関わる職員に対しても情報提供を行った。
- (7) 研修会場
 - ア 講義 (有)インフォジャパン 会議室
 - イ 実習 鶴見区内の外国人集住築および新宿区大久保地区
- (7) 使用した教材・リソース
前半で実施した聞き取りで得た情報を冊子にして配布したほか、関連書籍を購入し適宜

コピーして配布した。また、講師に依頼して作成してもらった資料についても配布した。さらに鶴見区役所、横浜市、(財)横浜市国際交流協会、(財)かながわ国際交流財団などが発行した関連資料や関連新聞記事も入手して配布した。

(8) 講座内容

回	日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
1	5月5日 13:0~14:00	ボリビア出身者に対する聞き取り(テーマ:移住)	区内在住キーパーソン	5人
2	5月5日 14:0~15:00	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ:労働)	区内在住キーパーソン	5人
3	5月9日 14:0~15:00	フィリピン出身者に対する聞き取り(テーマ:地域)	区内在住キーパーソン	4人
4	5月12日 14:00~15:30	バングラデシュ出身者に対する聞き取り(テーマ:地域)	区内在住キーパーソン	5人
5	5月15日 13:0~14:00	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ:日本語)	区内在住キーパーソン	5人
6	5月15日 14:0~15:30	ペルー出身者に対する聞き取り(テーマ:教育)	区内在住キーパーソン	5人
7	5月20日 13:0~15:00	フィリピン出身者に対する聞き取り(テーマ:日本語)	区内在住キーパーソン	5人
8	5月25日 13:30~15:00	中国出身者に対する聞き取り(テーマ:地域)	区内在住キーパーソン	5人
9	6月5日 13:30~15:00	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ:育児)	区内在住キーパーソン	4人
10	6月5日 15:00~16:00	ペルー出身者に対する聞き取り(テーマ:労働)	区内在住キーパーソン	5人
11	6月29日 13:00~14:30	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ:育児)	区内在住キーパーソン	4人
12	6月29日 15:00~16:00	在日コリアンに対する聞き取り(テーマ:地域)	区内在住キーパーソン	5人
13	7月2日 14:00~15:00	フィリピン出身者に対する聞き取り(テーマ:育児)	区内在住キーパーソン	5人
14	7月2日 15:30~16:30	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ:日本語)	区内在住キーパーソン	5人
15	7月2日	中国出身者に対する聞き取り	区内在住キーパーソン	5人

	17:00～18:00	(テーマ：教育)	ーソン	
16	7月9日 14:00～15:00	アルゼンチン出身者に対する聞き取り(テーマ：労働)	区内在住キーパーソン	5人
17	7月20日 15:00～16:00	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ：母語)	区内在住キーパーソン	5人
18	7月20日 16:30～17:30	ボリビア出身者に対する聞き取り(テーマ：育児)	区内在住キーパーソン	5人
19	7月25日 13:00～14:00	ブラジル出身者に対する聞き取り(テーマ：地域)	区内在住キーパーソン	5人
20	7月25日 14:00～15:00	ペルー出身者に対する聞き取り(テーマ：母語)	区内在住キーパーソン	5人
22	10月20日 13:30～16:30	多文化共生と外国籍住民	渡戸一郎	23人
23	10月20日 17:30～20:30	横浜市の外国籍住民と日本語教育	木村博之	23人
24	11月10日 13:00～16:00	新宿・大久保の多文化共生から学ぶ	金根熙	33人
25	11月19日 10:00～13:00	鶴見区の多文化共生施策と外国籍住民①	棚原恵子	25人
26	11月26日 14:00～17:00	鶴見区の多文化共生施策と外国籍住民②	中村昭敏	25人
27	12月15日 13:30～16:30	オーストラリアの多文化共生と言語政策	塩原良和	24人
28	1月19日 13:00～16:00	鶴見・潮田地域の歴史と多文化共生	富本潤子	28人
29	2月16日 13:00～16:00	鶴見区在住の外国籍住民の生活課題①	武田里子	30人
30	2月23日 17:00～20:00	鶴見区在住の外国籍女性の生活課題①	長谷部美佳	30人

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(第22～30回についての受講生の評価)

鶴見国際交流ラウンジで窓口業務を担うスタッフは、区外在住者が多く、今まで区内の外国人住民の日本語学習状況や諸課題について知らない参加者が多かった。また国内外の多文化共生の課題についても馴染みがなかったため、今回の講座で基本的な知識の共有ができたことに対して満足度が高い結果を得ることができた。

また、前半で行った聞き取りやフィールドワークで、区内外の各外国人コミュニティのキーパーソンから直接話を聞き、現場を歩くことができたため、評価が高かった。

<アンケートの評価>

	とても満足	満足	普通	やや不満	不満
パーセンテージ	82	15	3	0	0

② 実施主体からの研修内容結果評価

前半でキーパーソンから話を聞くことができたのは、非常に有意義であった。聞き取りには区役所職員も同行し、行政でできることと、ボランティアが担う役割についての話し合いにつなげることができた。

講座では、専門的な知見から幅広いテーマを取り上げることができ、また座学だけではなくフィールドワークを2回取り入れることができたのは、現場を知る良い機会となった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

国際交流ラウンジにおける事業は、スタッフやボランティアの主体的な企画によって運営されていくため、開設時に講座を開催できたことは非常に有意義であった。今後、スタッフやボランティアが中心となり、区内の外国人コミュニティとも連携して、よりニーズに合った日本語教室やその他の活動へと発展させていく予定である。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

2009～2010 年度にかけて、鶴見区役所は、東京外国語大学多言語・多言語教育研究センターと協働実践研究を行い、行政および地域における多文化共生の在り方についての検討を行った。今回のボランティアを対象とした実践研修では、このプログラムに関わった研究者に講座講師を依頼し、研究の成果を共有することができた。

② 研修後の人材活用

研修の参加者は今後も鶴見国際交流ラウンジのスタッフおよびボランティアとして日本語教室や外国人支援の活動に関わっていく。

(12) 今後の課題

鶴見国際交流ラウンジは開館時間が長く(平日は午前9時～午後9時)、なかなかスタッフが一堂に会することが難しいが、今後もメールなどを活用した連絡体制を確立し、よりよい活動のあり方やそれに必要な研修を実施していきたいと考えている。

2010年度 生活者としての外国人のための日本語教育事業
ボランティアを対象とした実践的研修
記録写真



第1回「多文化共生と外国籍住民」



第3回「新宿・大久保の多文化共生から学ぶ」



第4回「鶴見区の多文化共生施策と外国籍住民①」



第5回「鶴見区の多文化共生施策と外国籍住民②」



第6回「オーストラリアの多文化共生と言語政策」



第7回「鶴見・潮田地域の歴史と多文化共生」



第8回「鶴見区在住の外国籍住民の生活課題①」



第9回「鶴見区在住の外国籍女性の生活課題①」